



# 揖斐川中だより

令和6年1月9日  
揖斐川中学校  
第11号

## 『自らに問いながら、自らを磨き続ける』集大成の3学期に！

令和6年がスタートしました。コロナ禍も明けて、ご家庭でよいお正月を迎えることができたのではないのでしょうか。そんな中、おとなりの石川県で、元日夕方、大きな地震が発生し、たくさんの方々が被災され、大きな被害が出ました。被災された方々に心からのお見舞いを申し上げるとともに、平穩に暮らすことのできる有り難さを深く考える一年の始まりとなりました。互いに助け合い、まわりの方々への感謝の気持ちを忘れずに一日一日を一生懸命に過ごしていかなければと、強く感じています。この一年、揖斐川中の生徒とご家族の皆様が、安心・安全に健康で過ごせますことを心より願っております。



さて、いよいよ集大成の3学期がスタートしました。3学期は一年間を締めくくる学期であると同時に、来年度に向けての土台づくりの学期です。3年生の授業日数は今日を含めて42日間、1・2年生は53日間と本当に少ない日数です。短い日数ですが、仲間とともに、この一年間積み上げてきたものを確かめ合い、『ここまでできる自分（自分たち）になれた』と自信をもって、来年度に向かうことのできる3学期にしていきたいものです。

『自らに問いながら、自らを磨き続ける』ことのできる生徒を、この一年間大切にしてきました。自分自身に「自分はこれでいいのか?」「どうしたらもっとよりよい生き方を目指せるのか」と、自らに問いながら、決めた目標に向かってひたむきに努力を続けることのできる、自立した姿で、この一年間を締めくくれるようにしていくことを、どの学年も目指していきます。

特に、3年生の皆さんにとっては、この3学期は一年間の締めくくりであると同時に、中学校生活3年間、そして義務教育9年間を締めくくる最後の学期です。それぞれの進路に向けて、ラストスパート、最後の頑張り時でもあります。自分たちが最高学年として努力してきたことに誇りと自信をもち、最後まで仲間と力を合わせ、最高の姿を示し続けて、卒業式を迎えることができることを楽しみにしています。

1・2年生の皆さんは、来年度を見据えて、この3学期を「令和6年度の0学期」として、2年生は全校のリーダーになるための自覚と決意を、1年生は新1年生の先輩として、また3年生を支える中堅学年になるための心構えと準備をしていく3学期にできることを期待しています。

『ひたむきな姿』、『思いやりの心』、『自治の精神』に、さらに磨きをかけ、自信をもって3年生から『伝統の3本柱』を引き継ぐことができるようにしてほしいと思います。

全校生徒一人一人の頑張りで、最高の3学期を創り出していくことを心から期待しています。